

園評価表

評価段階（A：たいへん良い B：よい C：あまりよくない D：よくない）

今年度の重点	自己評価の総評	園評価	改善策（来年度の具体的な取り組み）
幼保連携型認定こども園教育・保育要領を理解している	知っているが、理解しているとは言えない保育教諭が多い。特に担任していない保育教諭はまだまだ認識がたりないようだ。	C	内容を把握できるよう、教育・保育要領の資料を園で準備し、一人ひとりが自覚をもって内容理解に努められるようにしていく。具体的には「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説平成30年3月」を職員一人ひとりが理解して、園内研修等で話し合い、さらに質の向上に努める。

理念、基本方針、教育・保育目標について

項目	自己評価の総評	園評価	改善策（来年度の具体的な取り組み）
理念を理解している	自園の理念なので理解はしている。	B	日常の保育の中でも意識して保育に取り組めるよう、職員会議等での共通理解を図っていく。
基本方針を理解している	〃	B	〃
教育・保育目標を理解している	〃	B	〃

教育・保育について

項目	自己評価の総評	園評価	改善策（来年度の具体的な取り組み）
指導計画は乳幼児の実態に即して作成しているか	子どもたちの様子・実態を踏まえて各年齢の担任などが作成できている。具体的には、昨年度の町立保育園・幼稚園での個々の様子なども踏まえて、立案に活かすため前担任等にも一人ひとりの特性やクラス全体の雰囲気などを聞いて実践することができた。	B	全体的な計画に沿って指導計画を立てているか確認して、園児が自ら周囲の環境と関わり、活動を展開する充実感を味わいながら、発達に必要な体験を積み重ねることができるよう計画を作成する。
環境の構成を意識した教育・保育や過程を常に工夫しているか	園の内外の環境を常に考え、意識して教育・保育をしてはいるが、もう少し子どもの遊びを引き出すための工夫できるところもある。	C	保育教諭・家族等で形づくる人的環境、建物や設備、自然物等の物的環境、その時々や時間や空間などで作り出される状況そのものも環境として捉え、具体的には保育室や園庭は園児の遊びや生活の動線を考慮し、園児にとって今、必要な体験が得られるよう環境構成を工夫していく。
素材・用具を適切に活用しているか	各年齢に合ったように工夫して活用できている。	B	園児の周りに存在する様々な人や物、生き物、自然事象、社会事象、歌や絵本など園児に関わる全てのものが素材・用具になることを意識する。
評価結果を基に、教育・保育の改善に努めているか	一年目なのでいろいろな面で検討しながら進めている。	B	職員会議を通して、令和4年度の評価結果を基に教育・保育の質の向上に努める。

日時程

項目	自己評価の総評	園評価	改善策（来年度の具体的な取り組み）
1日の流れ（デイリープログラム等）は現行で良いか	年齢に合わせて試行錯誤し、流れを工夫した。	B	今年度の取り組みを基に、さらに改善できるところを探っていく。

行事について

項目	自己評価の総評	園評価	改善策（来年度の具体的な取り組み）
行事の種類や実施回数は適切か	コロナ禍で実施を控えた行事も多かったが、写真等で行事の様子を保護者に伝え、保護者との送り迎えの時に担任から行事の様子を保護者へ伝えることができた。	C	実施できる行事について参加人数や年齢など、検討して、園児が楽しめるような取り組みをしていく。
行事のねらいを計画や実施計画に十分生かしているか	行事によって担当者が中心となって計画立案し、実施できた。	B	行事のねらい、内容など今年度の反省を基に、見直し、工夫していく。
計画・実施・評価・改善の体制をとっているか	今年度は初めての取り組みだったので、改善まではできないが計画・実施・評価はできた。	C	計画（P）→実施（D）→評価（C）→改善（A）を一連の流れとし、繰り返し実施することができるよう職員会議で話し合い、業務を継続的に向上できるように努める。
保護者の願いや意見を取り入れているか	数年間はコロナ禍で保護者が全ての行事に参加できなかったり、行事自体が中止になったりと、行事に参加できず、保護者は子どもがどのように園で活動しているか知りたいと意見があり、参加できる行事は時間帯を分けて参加したり、感染対策（換気・マスクの着用・手指消毒）を十分に行なって運動会や発表会、ハロウィン等の行事を行ったりした。感染が拡大している時期の行事は保護者の参加ができず、残念がられた。	B	保護者の参加可能な行事を増えるように、保護者の「子どもの園での活動が見たい」という意見に応えることができるように各行事を工夫して、参加できるようにしていく。また、保護者が参加しない行事についてもコドモンで配信して園での活動を保護者に伝えていく。

運営・組織

1 分掌・体制

項目	自己評価の総評	園評価	改善策（来年度の具体的な取り組み）
能率的、合理的な運営組織になっているか	職員一人ひとりの意識が曖昧で、組織として、自分の仕事以外は人任せになっているところがあった。	D	効率的に業務をこなせるよう、全職員が園内のルールや設備の取り扱いなど、共通理解を図れるようにし、自己責任を強化していく。特に園全体としての情報共有の強化をし、スムーズな運営に努める。
職員の配置は適材・適所か	経験年数や担任の経験がある先生、町からの派遣の先生が担任となり、各クラス配置した。また、令和5年度の職員配置も考慮してクラス配置できた。	B	職員との面談、通常のコミュニケーションの中で仕事に対する意識を確認して、自覚をもって仕事に取り組めるように再確認していく。
係や仕事の分担・割り当ては適切か	職務分担表の割り当てに従って、有資格者、補助、事務など、それぞれの自覚をもって取り組めた。	B	職務分担の係の仕事内容をさらに明確にして、責任をもって取り組めるようにしていきたい。

2 運営

項目	自己評価の総評	園評価	改善策（来年度の具体的な取り組み）
各種会議を適切かつ効率的に進めているか	保育時間の合間を使って短時間で会議を進められた。（保育教諭）	B	参加者の幅を広げて保育者だけでなく、事務、看護師なども参加する会議を設ける。
職員相互がそれぞれ全体的立場を理解し、協力や助言を惜しむことなくこども園の運営に関わっているか	職種間での情報の共有、意見交換ができず、仕事の効率が悪くなってしまったこともあった。	C	報連相をきちんとし、それぞれが余裕をもって職務に取り組めるよう、これまで以上にコドモン、掲示板などの活用をしていく。職種間で感じる問題点なども話し合っ解決策を考えられるようにしていく。

3 年齢別運営

項目	自己評価の総評	園評価	改善策（来年度の具体的な取り組み）
年齢別目標は、教育・保育目標に基づき設定しているか	全体的な計画に基づき、乳幼児期の発達の特徴を理解して、園児が自ら周囲の環境と関わり、活動を展開して充実感を味わえるように設定した。	B	令和5年度も全体的な計画に基づき、園児の活動に沿った計画作成する。また以前、それぞれの年齢を経験した保育者の意見を参考にしながら、よりその年齢に合った目標を設定していく。
年齢別目標は、乳幼児の実態に則して設定しているか	園児の実態に合わせて設定している。	B	各年齢に合わせて検討を重ね、目標の設定をしていく。
同年齢及び異年齢児間の効果的な活動の充実を図っているか	各クラス間で情報を共有し、つながりをもちながら活動してきた。	B	保育教諭間で話し合いながら、信頼関係を築き、活動できるようにしていく。異年齢間の活動するねらいを職員間で共有し、充実を図っていく。
評価、資料（諸記録）を集積しているか	週案・月案・保育日誌・児童票等の各種記録を集積している。	B	各種記録を集積を継続し、職員へフィードバックして質の向上に努める。

4 保健・安全指導

項目	自己評価の総評	園評価	改善策（来年度の具体的な取り組み）
年齢別運営に生かされるような具体的な保健対策を講じているか	毎月、季節に合わせた保健指導や手洗いの大切さ・虫歯予防等について実施・指導した。	B	看護師の意見も取り入れてきめ細やかに指導していく。また、看護師が保健指導する機会を設ける。
避難訓練・交通安全指導を、計画に基づき適切に実施しているか	毎月1回実施して、避難訓練（火災・地震・不審者）の訓練を実施している。総合訓練時には、消防署の立ち会いにより実施している。交通安全訓練も毎月1回実施しており、年に1回は警察署から交通安全の指導をしていただいた。	B	危険回避能力が育つような指導を重ねていきたい。
健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への啓発を行っているか	園児・職員のコロナ感染状況をコドモンでその都度配信し、おたよりでは家庭での生活につながるように園での生活・遊びの様子をお知らせした。	B	学校医・看護師・栄養士等と保育教諭が連携して、健康に関する啓発、安全で安定した生活が送れるように家族への情報発信に努める。

情報について

項目	自己評価の総評	園評価	改善策（来年度の具体的な取り組み）
乳幼児や保護者に関する個人情報などを適正に取り扱っているか	個人情報保護規程・個人情報に関する文章等管理規程に基づき十分に配慮して取り扱っている。	B	職員会議等で個人情報の適切な取り扱いについて周知し、より徹底していく。
公文書収容、発送、処理を適切に行っているか	園長・事務担当が対応していたが、特に発送について、確認体制が適切ではない時もあった。	C	文章取扱規程に準じて対応し、公文書収容は收受印を押し、文章の記号及び番号を記載し、適切に対応する。園長・副園長・主幹・事務員で確認してから文章等の発送・提出するようにする。

施設・設備

項目	自己評価の総評	園評価	改善策（来年度の具体的な取り組み）
施設内外・設備の安全点検を計画的に行っているか	消防計画に基づき、自主点検（火気・閉鎖障害）は毎日点検した。建物の定期点検は年2回実施した。消防設備点検は機器点検・総合点検の2回実施した。	B	消防計画に基づき、計画的に実施していく。日常の火災予防の担当者を職員が閲覧できる箇所に掲示して、防火管理者指示・命令で見逃しのないように点検し、安全には十分注意していく。
遊具・用具等を、活用しやすいように整理・保管しているか	種類別に分けて入れたり、年齢に合わせて使いやすいうように準備している。	B	園児の様子に合わせて整理、保管をきちんとしていく。
不審者等に対応する周到な配慮を行っているか	不審者が入ってきたときの対応を不審者侵入時対応マニュアルに従い、共通理解し、訓練している。門を閉め、自由に出入りできないようにしている。	B	不審者侵入の防止の3段階のチェック体制を現在のマニュアルに追加し、職員周知する。警察と連携した訓練を実施するなど、強化していく必要がある。
掲示板、掲示場所等を適切かつ効果的に活用しているか	玄関に掲示し、誰にでも見やすいようにしている。	B	1か所だけでなく数か所に掲示するなど、目につきやすいようにする。

出納経理

項目	自己評価の総評	園評価	改善策（来年度の具体的な取り組み）
保護者会会計を適正かつ適切に処理しているか	園長・副園長・主幹（保護者会会計）で物品を購入した時に確認した。年度末に保護者会副会長と監査が確認した。	B	保護者会の会計の流れを検討して、より適切な保護者会の運営ができるようにする。

開かれたこども園づくり

1 小学校との連携

項目	自己評価の総評	園評価	改善策（来年度の具体的な取り組み）
参観や保育・授業等に参加するなどして、小学校等の教育を理解しているか	コロナ禍で思うように交流ができなかったが、年度の後半になって交流できたので、つながりをもてた。	C	計画的に交流して、こども園と小学校と連携しながら、教育・保育の効果を発信していく、とともに小学校の理解も深めていきたい。
日常的に情報を交換し、それを交流活動に活かしているか	会議などでの情報交換はできていたので、交流時にはスムーズに対応できた。	B	実際に交流する機会を多くもち、さらに情報交換もしながら交流し、理解を深めたい。

2 家庭・地域社会との連携

項目	自己評価の総評	園評価	改善策（来年度の具体的な取り組み）
保護者を含む地域の人材活用の時期・内容は適切か	コロナ禍で控えることが多かったが、地域の方の行事参加も後半3回あった。	C	コロナ予防策について、緩和されていけば対策をしながら、できるだけ多く取り入れていきたい。
（乳）幼児の興味や関心に基づいて地域社会と交流しているか	コロナ禍で思うようにできなかった。	C	できることから対応していきたい。
地域の行事に積極的に参加し、地域の文化や生活に触れているか	コロナ禍で控えることが多かった。	C	対策をしながら対応していきたい。

3 子育て支援の推進

項目	自己評価の総評	園評価	改善策（来年度の具体的な取り組み）
地域の子育てセンターとして、園庭や中庭、保育室等を開放しているか	開放する日時を決めて開放していた。	B	開放日などを広く発信して子育て支援をしていきたい。
「子育てについて」など、保護者を対象とした学習の機会を設定しているか	内容の異なる講演会を実施した。	B	開催日時、内容など再検討して、できるだけ多くの保護者が参加できる機会を設けたい。
職員による育児に係る「子育て相談」は充実しているか	話しやすいような環境設定をして、相談を受けた。	B	保護者から話しかけやすい対応を心がけていく。
医療機関、児童相談所等に専門機関と連携を図り、保護者にとって必要な情報を提供しているか	保健師とは連絡を密にして情報発信をしてきた。児相からの連絡にも情報共有してきた。	B	各機関との連絡を密にして、情報の提供に努めたい。

4 情報の発信

項目	自己評価の総評	園評価	改善策（来年度の具体的な取り組み）
こども園だより・クラス通信、ホームページ等でこども園の情報を発信しているか	園だよりは毎月、クラス通信は保育参観日等行事に対して保護者に伝えたいことを発信していた。ホームページの発信ができていなかった。令和5年度はホームページで発信できるようにする。	C	コドモン、ホームページを活用しきめ細やかな情報の発信をしていきたい。発信した情報を保護者に伝わっているか確認しながら進めていく。
行事や子育て支援事業等を、地域の広報誌や小学校等に対して周知しているか	町の広報誌には毎月こども園の様子を掲載しているが、小学校には周知できなかった。	C	広報誌への掲載、さらに小学校への周知に努めたい。

5 外部評価

項目	自己評価の総評	園評価	改善策（来年度の具体的な取り組み）
第三者評価を導入し、こども園運営に反映しているか	出前講座を開催して、第三者評価をどのような評価するか研修を行い、導入するための準備をしている。	D	今後第三者評価受審を進める。
地域や保護者の意見を施設運営に反映しているか	保護者アンケートや三者協議会で意見を聞いて、園への出入り口の看板案内設置や正面玄関が狭いと意見が多くあったので、できる限りの玄関を広くなるように工夫した。	B	令和5年度も三者協議会、保護者アンケートで意見を取り入れながら進める。